

学習課題(小学校5年生)



【社会】

<学習内容> 「わたしたちの生活と工業生産」

◆ 「くらしを支える工業生産」教科書④2～9ページの内容について、取組シートやノートにまとめよう。

【日本の工業生産の特色】

(1) ものに道具や機械を使って手を加え、形や性質を変えたり、組み立てたりして人の役に立つものをつくる産業のことを工業 ことば(教科書P2)と言います。

あなたの身の回りには、どのような工業製品がありますか。教科書4ページ資料④を参考に、見つけたものを書いてみよう。

①	②	③
④	⑤	⑥
⑦	⑧	⑨
⑩	※すべてのらんをうめる必要はありません。見つけることができたものを書けるだけ書いてみましょう。	

(2) 教科書4～5ページを参考に、身の回りの工業製品の分類を下の表にまとめよう。

工業製品の主な分類		
分類	工業製品の例	
(①)) 工業	パソコン、電子レンジ、自動車	
(②)) 工業	ナット、レール、鉄板	
(③)) 工業	タイヤ、光ディスク、薬	
(④)) 工業	スナック菓子、かんづめ、カップめん	
(⑤)) 工業	シャツ、織物、毛糸	
⑥そのほかの工業	家具、ノート、焼き物	

ことば（教科書P7）

【日本の工業生産の特色】

(3) 多くの工場が集まり、工業生産がさかんな地域を工業地域といい、
 その中でも日本の産業の発展を支えた京^{けい}浜^{ひん}、中^{ちゅう}京^{きょう}、阪^{はん}神^{しん}を工業地帯
 とよびます。日本の工業生産の特色を教科書6～7ページ資料①②③
 をもとに調べ、下の表にまとめよう。
 ※北九州も以前は工業地帯とよばれていました。

日本の工業生産の特色	
資料① 工業種類別の工業生産額のわりあいの変化	○1935年は、(①) 工業の生産額のわりあいが最も大きかったが、しだいに(②) 工業が中心になってきた。
資料② 大工場と中小工場のわりあい	○日本の工場数のほとんどを(③) がしめている。 ○大工場は工場数や働く人の数のわりあいは少ないが、生産額は全体の(④) 以上もある。
資料③ 日本の工業生産の分布	○工業がさかんな地域は(⑤) 側の海ぞいに多い。 ○日本の工業地域・工業地帯のうち、最も工業生産額が大きいのは(⑥) である。

(4) 日本の工業地域・工業地帯は、海沿いに広がっています。なぜ、海沿いに工業のさかんな地域が多いのでしょうか。教科書9ページを参考にして、その理由を取組シートやノートに書いてみよう。
 ※関東地方の南部から九州地方の北部にかけて、工業地域や工業地帯が帯のように広がっている地域を「太平洋ベルト」と言います。

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

- ・「工業製品」は、意識して調べてみると身近にたくさんあることに気がつきます。ご家庭で、具体的に工業製品を見つけたり、分類したりしてみると、「工業」を身近に感じる事ができて効果的です。